

春期中国語研修報告書

都市教養学部 人文・社会系 教育学コース 2年

私は台湾師範大学で行われた春期中国語研修に参加しました。3週間の研修ということで、同時期に行われる他の研修と比べると短い期間での研修ではありましたが、短期間であるからこそ、集中して中国語に向き合えたように思います。

研修先ではまず中国語のレベルチェックテストが行われて、一人ひとりの習熟度に合ったクラスに分けられました。クラスには他大学の学生や社会の方がいました。クラスによっては外国の方がいる場合もあるようです。そして、このテストで分けられたクラスでほぼ毎日午前中に言語授業を受けました。教科書に出てくる単語や文型を利用した実践的な会話トレーニングやゲームをして、中国語の力を鍛えました。研修の成果として、研修の初めの頃にはなかなか聞き取れなかった先生の中国語も、3週間の研修が終わるころには大方聞き取ることができるようになりました。午後は、自由時間の日もあれば、中国の文化を体験する文化授業や台湾で有名な観光地へ行く校外学習に参加する日もありました。文化授業や校外学習は様々な選択肢の中から自分の興味関心にあったものを選ぶことができ、私は文化授業では茶道・台湾語講座・書道の授業を受けて、校外学習では故宮博物館・九份・十分へ行きました。特に文化授業の茶道・書道の授業は、日本のものとは異なるところも多くあり、日本の文化との違いを感じることで有意義な授業でした。

午後の自由時間や休日は、地下鉄やバスを使って観光に出かけました。士林夜市や龍山寺、烏来などの観光名所を巡ったり、台湾式シャンプーの体験をしたりして、現地の人々や食べ物、雰囲気をつくさん肌で感じられる充実した時間を過ごすことができました。また授業のある日でも朝早起きして、台湾の伝統的な朝食である台湾式おにぎり(飯糰)や具の入った塩味の温かい豆乳(鹹豆漿)を食べに行きました。台湾ならではの朝ごはんを味わうことができとても楽しかったです。

研修中は大学の寮で生活しました。徒歩圏内に地下鉄の駅やバス停があって出かけやすく、また寮周辺にもコンビニ、スーパー、夜市、飲食店があるのでとても生活しやすい環境でした。部屋には冷蔵庫とテレビはありませんが、テレビがなかったことでかえって中国語の学習に集中できたように思うので、結果的にはよかったなと思っています。

今回の研修は私にとって初めての海外でした。そのため初めての海外かつ3週間も海外で生活しなければならないという状況には不安もありました。しかし、治安が良く街に出かけやすいことや、台湾の食べ物が比較的日本人の口に合っていて食べ物に困らなかったことなどから、台湾での生活にもすぐに慣れて、中国語の勉強にしっかりと集中できました。勉強面だけでなく、台湾師範大学の学生や、外国の方、社会人、他大学の日本人の学生、台湾の街の人々など本当にたくさんの人と出会うことができ、自分の視野を広げることもつながったように思います。台湾は日本と似た部分もありますが、日本に近いのにこんなにも違うのか!といった新鮮さも多く感じられて、いい刺激になると思います。もし、中国語研修に参加するか迷っている人がいるのなら、ぜひおすすめしたいです。